

ご挨拶

早春の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、理事等で種々検討のうえ、一般社団法人日本産業心理職協会は、令和7年4月末日をもちまして、解散させていただくことになりました。法人としての一定の役割を終えたと判断し、解散する運びとなりましたことを、謹んでご報告させていただきます。これまで、弊協会が活動できましたことは、ひとえに皆様の温かいご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

思い返せば、社会経済の変化は労働者を取り巻く職場環境を変貌させ、労働者の心身の健康問題にかかわる心理職の存在・役割が評価されるようになりました。しかし、産業現場実践で活躍できる心理職を育成する環境整備は不十分であり、社会的ニーズに対応できる産業心理職の育成が急務となりました。

そこで、2011年に、「産業心理職育成研究会」(産心研)を発足し、実践的な勉強会や学会活動を経て、2018年6月25日に「一般社団法人日本産業心理職協会」を設立した次第です。その後、研修会、事例検討会、講演会、産業心理職のかかわる団体や医療機関等への協力・連携、個人指導(スーパーヴィジョン)等の事業をしまいにしました。

研修会では産業現場で必須な労働安全衛生&産業精神保健の知識を系統的に網羅したカリキュラムと産業現場で有効な心理臨床の技法を学びました。講師陣にはこの分野での国内第一級の専門家をお迎えして、学びを深めることができました。また、心理職(カウンセラー)だけでなく、看護師、保健師、精神保健福祉士、人事労務担当者など、さまざまな職種の方にも受講いただき、多職種間の情報交換や学び合いが実現できたと自負いたします。なお、コロナ禍でのオンライン研修方式の導入が、図らずも地方・遠隔地の方々の受講・参加の機会創出につながりましたことは、望外の喜びです。参加者の皆様から、弊協会での研修会・事例検討会が産業現場実践に有効で、心理職として自信をもって活動しているとの声が寄せられましたことは、誠に嬉しく、理事一同の励みとなりました。

七年の時の流れは感慨深く、この間の多くの皆様との出会いに思いを馳せております。ありがとうございました。弊協会は解散いたしますが、皆様との「絆」を大切に、今後も産業保健活動にかかわらせていただきたく思います。

末筆になりますが、産業心理職の皆様には、パワハラや長時間労働等の職場特有のストレスや現代社会の抱える働き方の問題、キャリア構築、働きやすい職場環境づくり等の支援のみならず健康経営への参画が求められています。

皆様が多幸、ご健勝で益々ご活躍なされますことを心より祈念申し上げます。

令和7年2月

一般社団法人日本産業心理職協会

代表理事 森崎美奈子

<追記1>

弊協会の2024年度最終の研修会が3月9日に開催されます。

多くの方のご参加をお待ちしております。

詳細、お申込みはこちらから→<https://sanshinkyō.or.jp/information/index.html>

【2025年3月9日(日)】

第7回:ライブ・スーパービジョン第2弾:リフレクティング・プロセスを通して

時間:10:00~12:30

講師:児島達美(KPCL・臨床心理士・公認心理師・当協会理事)

座長:廣川 進(法政大学・当協会理事)

閉会あいさつ:森崎美奈子(当協会 代表理事)

第8回:産業保健現場における困難事例への対応3

時間:13:30~16:00

講師:日本産業心理職協会 代表理事 森崎美奈子(臨床心理士)

杏林大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 非常勤講師 松井知子

(臨床心理士・公認心理師)

Mental Health & Human Support With You 代表 川上晃代

(臨床心理士・公認心理師・キャリアコンサルタント)

<追記2>

2025年5月1日(木)以降のお問い合わせ等は、下記までお願いいたします。

馬場 洋介(弊協会理事)

e-mail:hirosuke.baba@thu.ac.jp

以上